



## 創立 30 周年を迎えて

兵庫腎疾患対策協会 会長 守殿貞夫  
(西宮敬愛会病院 院長)

日頃は兵庫腎疾患対策協会の活動につきまして、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本会は、(1)兵庫県下における、腎疾患の総合医療体制を推進、住民の健康および福祉の向上、(2)腎疾患の予防および血液浄化法に関する知識の普及啓発などに必要な事業、(3)臓器移植に関する知識の普及啓発を目的とし、1990年9月故石神襄次初代会長(神戸大学名誉教授)の下に、ソロプチミスト神戸東の事業「腎大切にしていますか」活動を基盤として設立されました。会員は、会の目的に賛同して入会した個人(一般人、コメディカル、医師他)、法人ならびに団体からなる正会員、および幹事会の議決を経て推薦された特別会員で構成され、入会の申し込みは随時受け付けています。

1990年の設立総会(神戸ポートピアホテル)の記念講演には Richard E. Piertroski B. S. M. S. (当時ミシガン州上級移植コーディネーター)をお招きし、「米国における臓器移植の現状—我が国における腎臓移植と比較して—」についてご講演頂きました。

設立以降、現在に至るまで、腎疾患関連の啓発活動、中でも腎移植推進に向け活動してきました。2009年から始めたスペインの教育プログラム「TPM 専門研修」への派遣支援事業は、その年の総会特別講演「臓器提供に向けて—WHO が推奨するスペイン成功モデル—(篠崎 尚史医師：当時WHO 移植課)」を契機に始めました。これまでに 10 名の方たちを支援しており、現在では、この研修経験者を中心に県内外でスペイン TPM モデル臓器提供推進トレーニングシステム研修を実施してきました。

総会時の特別講演では、県民に臓器移植について更なる関心を持って頂けるように医学関係者、時には文化人、政治家をお招きし、移植医療の啓発に努めてきました。「医学の進歩と人の幸福(講師：石神襄次前会長)」、「救急現場からみた腎臓提供の変化(吉永和正現副会長)」について、第 25 回総会・創立 25 周年記念講演では「iPS 細胞の臨床応用(高橋政代氏：理研 CDB プロジェクトリーダー)～腎移植への応用は可能か～」についてお話し頂きました。加賀乙彦氏(作家)には「先端医療と人間」、柳田邦男氏(作家)：「いのちを救うとは」、A・デーゲン氏：「新しい死の文化の想像」、河野太郎現外務大臣：「生命(いのち)～父 河野洋平に肝移植した経験から～」、曾野綾子氏(作家)：「さまざまな命の姿」、五十嵐利幸氏(株式会社福井新聞社事業参与)：「妻が、今も誰かの人生を支えている」と題し、皆様に命の大切さについてお話し頂きました。この度の当協会創立 30 周年記念総会時の特別講演にはファッションデザイナーとして世界を舞台に力強い、エネルギーに満ちた創作活動を継続しておられるコシノヒロコ氏に「ファッションの持つ力」と題し、ご講演頂きます。

### 我が国の臓器移植の現状

2018 年度の脳死下と心臓停止後の臓器提供件数は 97 件、移植件数(移植臓器全数)は 358 件でした。この移植数に比し 2019 年 4 月 30 日現在、わが国(日本臓器移植ネットワーク)での移植希望登録者数(昨年)は腎 12,044 (11,888) 名、心臓 738 (674) 名、肺 347 (330) 名、肝臓 324 (312) 名、膵臓 209 (206) 名と昨年に比し全臓器で増加、移植待機者が増えています。わが国で、移植待機者が増え、臓器移植が普及しない理由として、国民が「臓器移植について知らないから」、即ち「知らないから関心がない、知らないから決められない」という状況が依然として続いていることが最大の問題ともされています。臓器移植を遠い世界のことでなく、身近なものとする機会を持つことが望まれます。これには、昨年、厚生労働省が提唱した「人生会議してみませんか」の普及が期待されます。

### 「人生会議」の中で、 ～臓器移植・臓器提供について話し合おう～

「人生会議」は初耳で何のことかお分かりにならない方が多いかと思います。欧米では、1995 年から提唱されている人生における『Advance Care Planning(ACP)～健康時から将来の自分にとって“望ましい医療・ケア・プラン”を予め考える～』に厚労省が「人生会議」という愛称を、平成 30 年 11 月 30 日(金)に決定したことに始まります。この「人生会議」とは、もしもの時のために、その人が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、個人の価値観を明らかにし、家族間でそれらを共有する取組のことです。厚労省は「人生会議」が国民一人一人の生活の中に、より浸透するように指導しています。

人は、誰でも、命に関わる大きな病気やケガをする危険性があります。生命の危機に面した場合、多くの人は自分自身で治療方針を選んだり、自身の望みを人に伝えたりすることが出来なくなります。「人生会議」はそのような事態に備え、自分自身で前もって考え、家族等に自らの考えを知って貰っておくと言う事です。

私は、この「人生会議」の中で、移植医療における臓器提供について家族間で是非とも話し合ってもらい、家族個々人の臓器提供についての意思確認を共有できる機会にして頂きたいと思っています。2010 年 7 月 17 日に改正臓器移植法が全面施行され、臓器提供の意思が不明な場合も、ご家族の承諾があれば臓器提供できるようになって 9 年が経過していますが、臓器移植件数は先に述べましたように増加しておりません。「臓器移植について知らないから」が移植医療の推進上、最大の問題とされる現状を踏まえれば、人生会議の中で、例えば、脳死状態になった家族がドナーカードを有し、臓器提供の意思があることを、他の家族が共有していれば、問題なく臓器提供に繋がることが期待されます。このように人生会議において、家族間で臓器提供についての意思確認が共有できていけば、繰り返しになりますが、「知らないから関心がない、知らないから決められない」ということは無くなり、日本の移植医療も良い方向へ変わって行けるのではと思います。

## 事業報告 & 事業計画 (案)

### 2018年度 事業報告 (2018年5月1日～2019年4月30日)

1. 会報『Gift of Life』Vol. 26 発行 (6月)
2. 第28回総会及び講演会 (7月7日)  
大雨警報のため、書面による持ち回り総会に変更し開催
3. 共催、後援、協賛事業
  - NPO法人 兵庫県腎友会主催  
・兵庫県慢性腎臓病腎シンポジウム 2018 (3月)
  - 兵庫県臓器移植推進協議会主催  
・臓器移植を考える市民公開講座 (4月・11月)  
・GIFT OF LIFE「移植を受けた子ども達の作品展」(8月・2月)  
・チャリティゴルフ大会 (2月)
  - 兵庫県透析医会 移植推進委員会  
・市民公開講座「腎移植という選択」 (5月・11月)
4. 兵庫県臓器移植推進協議会支援
5. 創立30周年記念事業、講演会などを立案
6. ホームページバナー広告募集、掲載



### 2019年度 事業計画(案) (2019年5月1日～2020年4月30日)

1. 第29回総会  
創立30周年記念式典・講演会及び祝宴 (6月23日)  
講師：コシノ ヒロコ氏 『ファッションの持つ力』
2. 会報『Gift of Life』Vol. 27 発行 (6月23日)
3. 共催、後援、協賛事業
  - NPO法人 兵庫県腎友会主催  
・兵庫県慢性腎臓病腎シンポジウム 2019 (3月)
  - 兵庫県臓器移植推進協議会主催  
・臓器移植を考える市民公開講座 (2回/年)  
・チャリティゴルフ大会 (11月10日)
  - 兵庫県透析医会 移植推進委員会  
・市民公開講座 (6月・9月)
4. 兵庫県臓器移植推進協議会支援
5. 当協会の目的とする腎疾患への理解、臓器移植推進のために一般市民への啓発事業を企画推進する。  
①創立30周年記念事業として「臓器提供意思表示カード」の普及推進への提案やPRを推進。  
②県内移植コーディネーターの活動を支援。
6. ホームページバナー広告募集、掲載
7. 創立30周年記念誌制作

### 2019～2020年度 兵庫腎疾患対策協会 役員・幹事

会 長	副 会 長	吉 永 和 正
医療法人敬愛会 西宮敬愛会病院 院長 神戸赤十字病院 顧問 守 殿 貞 夫	医療法人社団 坂井瑠実クリニック 理事長 副 会 長 坂 井 瑠 実	医療法人協和会 協和マリナホスビタル 院長 吉 永 和 正
三田市民病院 事業管理者 兼 院長 幹 事 荒 川 創 一	神戸大学大学院医学研究科 特命講師 石 村 武 志	兵庫県臓器移植推進協議会 会長 川 瀬 喬
NPO法人 支援の会ひまわり 理事長 小 泉 邦 昭	株式会社毎日広告社 代表取締役社長 隅 田 保	医療法人たけだクリニック 理事 竹 田 雅
兵庫医科大学 名誉教授 特定医療法人五仁会住吉川病院 名誉院長 中 西 健	神戸大学医学部附属病院 腎臓内科教授 腎・血液浄化センター長 西 慎 一	兵庫県立西宮病院 腎疾患総合医療センター長 西 村 憲 二
医療法人社団 坂井瑠実クリニック 顧問 福 西 孝 信	神戸大学大学院医学研究科長 医学部長 藤 澤 正 人	NPO法人 兵庫県腎友会 会長 松 菱 理 恵 子
眼科医 安 井 多 津 子	兵庫医科大学 泌尿器科 主任教授 山 本 新 吾	まつもと泌尿器科 院長 松 本 修
高砂市民病院 名誉院長 顧 問 後 藤 武 男	元(財)尼崎健康・医療事業財団 市民開発センターハーティー21 シニアアドバイザー 藤 岡 晨 宏	兵庫医科大学 腎移植センター長 泌尿器科 臨床教授 野 島 道 生
		株式会社毎日広告社 顧問 八 馬 富 久 子
		NPO法人 兵庫県腎友会 相談役 森 利 孝
		国際ソロブチミスト神戸東 保健奉仕担当 水 垣 文 戸 子
		長久天満診療所 院長 会 計 監 査 長 久 謹 三
		国際ソロブチミスト神戸東 会長 乙 守 圭 子